

## 豚熱（CSF）家畜防疫緊急対策事業等を実施します

令和7年に入り、本市で1月、2月、4月、5月に豚熱が発生したことから、この状況を受けて、次のとおり家畜防疫の緊急対策事業等を実施します。

1 対象

市内畜産農家等

2 対象事業

別紙のとおり

### 本件に関するお問い合わせ先

#### 農政課

#### 畜産係

電話 内線 / 75-181

外線 / 027-225-7105

#### 有害鳥獣係

電話 内線 / 3705

外線 / 027-898-6705

## 別紙

## 1 豚熱（CSF）等家畜防疫緊急対策事業

NO	対策名	予算額（円）	事業概要
1	緩衝帯整備事業 (R6 年度末緊急・R7 年度当初)	9,000,000	富士見町山口、宮城、粕川地区に緩衝帯を設置
2	防疫対策資材等購入支援事業 (R6 年度末緊急・R6 年度 3 月補正)	13,000,000	1 農家上限 20 万円
3	農場への施設整備補助	63,000,000	養豚、養鶏農家の畜舎や離乳豚舎の改修やカメラ設置等の施設整備の補助
4	緩衝帯整備事業	6,000,000	発生農場付近の整備
5	狩猟期イノシン捕獲奨励金	1,928,000	5 千円→1 万 3 千円 (単価見直し)
6	有害鳥獣捕獲委託料	992,000	発生農場周辺等対策強化 (猟友会委託)
7	イノシン等捕獲用わな購入	1,485,000	捕獲用わなの購入費
	合計	<u>① 95,405,000</u>	6 月補正額 73,405,000

## 2 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

NO	対策名	予算額（円）	事業概要
1	家畜飼料価格高騰対策事業	130,020,000	畜産農家へ支援金交付 (うち養豚分 42,506 千円)②
2	前橋産豚肉消費拡大支援事業（仮称）	<u>③ 2,800,000</u>	まえばし麦豚の給食提供
	合計	132,820,000	6 月補正額

○豚熱・養豚関係緊急対策事業計 (①+②+③) = 140,711,000 円

## 別紙の事業説明

別紙の「1 豚熱（CSF）等家畜防疫緊急対策事業」のNo.3から7まで事業については、令和7年第2回定例会（6月補正）に議案として提出します。

事業説明は以下のとおり

No.3 中部家畜保健衛生所の意見などを参考に養豚農家等へイノシシや小動物の侵入防止のための柵の設置、離乳豚舎等の消毒用施設の設置、野生動物の監視カメラの設置や施設の補修等の施設整備費補助  
1 農家あたり上限100万円

No.4 豚熱が発生した農場付近の緩衝帯整備費の補助

No.5 イノシシの捕獲する捕獲奨励金の単価が5,000円だったものを13,000円に引き上げるもの。

No.6 猟友会に委託し、養豚農家が多い地域の周辺のイノシシ等の捕獲を強化を図る。

No.7 イノシシ等の捕獲を行うためのわなの購入費用

No.1、2については、令和7年1月、2月の豚熱の発生を受け、令和6年度に補正予算要求をして、現在、事業を実施している。

No.1 富士見、宮城地区など養豚が盛んな地域に緩衝帯を設置するもの。

No.2 石灰などの消毒剤購入や消毒用の機械購入など家畜伝染病予防対策にかかる経費の補助  
1 農家あたり上限20万円

なお、No.3、7については、緊急性があることから事業を早期に実施する予定。

別紙の「2 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業」については、令和7年第2回定例会（6月補正）に議案として提出します。

No.1 家畜の飼料価格高騰が続いていることから飼育頭数により飼料購入費を支援するもの。  
牛1頭あたり4,700円、豚1頭あたり752円、鶏1羽あたり47円を支援  
1 農家あたり上限100万円

No.2 前橋産豚肉消費拡大支援事業（仮）は、本市の赤城の恵ブランドの認証品となる「まえばし麦豚」を市内の小中学校の給食で提供することで、児童・生徒の農産物の意識付けと各家庭への前橋産豚肉のPR・消費促進するもの。

※豚熱・養豚関係緊急対策事業関連の合計（①+②+③）＝ 140,711,000 円